

“幸せな帰町”復興・再生への道のり



遠藤町長

平成28年第4回広野町議会定例会が12月13日から14日までの会期で開催されました。一般質問を経て議案審議がなされ、すべての議案が原案どおり可決されました。

会期初日には、遠藤町長が第3回定例会（9月開催）以降の町政経過報告を行いました。町民の皆さんにお伝えしたいことがたくさん盛り込まれていますので、主な内容の抜粋を掲載します。

総務課

11月19日に災害公営住宅、同月26日に町営住宅の入居希望者抽選会を行い、入居者を決定しました。応募の無かったそれぞれの空室については、現在、入居希望者を再度募集しています。また、第1期災害公営住宅である「広野原団地」に続き、第2期災害公営住宅の名称を公募しています。今後、応募作品から候補を絞り、名称を決定する予定です。



第2期災害公営住宅イメージ図（大平地区）

復興企画課

10月15日、広野町中央体育館において、第22回ひろの童謡まつりを開催しました。

た。「とんぼのめがね」、「汽車」などの童謡や唱歌をはじめ、「未来への願い」をテーマに、子どもから大人まで、ふる里再生への希望を乗せて、優しい歌声を響かせました。



駅東側集合住宅安全祈願祭

11月25日、広野町東側地区の産業団地内に大和ハウス工業株式会社福島支社が建主となり、地元企業や復興関連企業の就業者を対象とした集合住宅整備の安全祈願祭および起工式が開催されました。集合住宅は、軽量鉄骨造、地上2階建て、10棟114戸を来年9月完成予定で整備するものです。11月25日から27日の3日間、「被災地から考える」のテーマのもと、国際フォーラムを挙行し、ご遺族ならびにご来賓の参列のもと、戦没者のご冥福と恒久平和をお誓いしました。

ラムを開催しました。3日間で17のセッションを設け、参加者を含めた議論の末、海外を含めた「被災地を見る目」との交流、適切な情報発信が「被災地から考える」上で非常に重要であり、これまで主にそれぞれの被災地で行ってきた課題対応を地域間での連携により解決を図ることも重要であることを学びました。11月28日、東日本大震災ならびに福島第1原子力発電所事故を契機に、災害時における相互応援に関する協定を締結している小野町と、これまで以上の友好的な交流を進めるとともに、防災・教育を基軸とした相互連携と両町がもつ自然、文化を含めた地域間の交流を促進するため、地域間交流に関する協定を締結しました。12月12日、広野町と株式会社東邦銀行は、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、地方創生と東日本大震災からの復興

町民保健課

興、地域活性化および住民サービスの向上に資することを目的とする包括連携協定を締結しました。

7月に実施した総合検診の未受診者を対象とした追加検診を9月25日の日曜日に保健センターにおいて実施し、約1000人が受診しました。今後も日曜日検診など、受診しやすい環境を整備していきます。



ひろの健康ウォーク

この区間をコースの一部に加えて実施し、町内外より約250人という多数の参加がありました。

11月5日、ひろの秋祭りの一環として、広野町中央体育館において、健康まつりを開催しました。福島県立医大の医師による健康相談や広野町食生活改善推進協議会による塩分控えめの味噌汁の試食など、健康づくりを啓発しました。また、笑いと健康をテーマとして、福島県立医科大学の大平哲也教授の講話や春風亭百楽師匠の落語を聴きました。

10月30日、第14回ひろの健康ウォークを実施しました。完成間近となった県道広野小高線広野工区、通称浜街道のお披露目を兼ね、

福祉介護課

9月29日、広野中学校に

環境防災課

9月11日、広野町総合グラウンドにおいて、広野町消防団・同婦人消防隊ならびに東京電力広野火力発電所自衛消防隊の参加のもと、秋季検閲式を開催しました。相双地方振興局をはじめ、多くの来賓の方々のご臨席をいただき、団員の品位および技能の錬磨を図るため、通常点検および機械器具点検を行いました。10月13日、防災備蓄倉庫完成式を開催しました。有事の際に避難住民への早急な支援を円滑に行うためのもので、防災機能の一躍を担う施設です。10月22日、午前7時に震度6弱の地震が発生し、津波警報が発令されたという想定で、広野町津波避難訓練を実施し、午前8時から



保育所運動会

10月1日、保育所で運動会を開催しました。ご来賓の皆様にも競技にご参加いただき、子どもたちの歓声と元気な姿に接することができました。

10月11日、児童館の子どもたちが老人クラブの皆様のご指導により、グラウンド・ゴルフに挑戦し、老人クラブとの交流を行いました。10月18日、隔年ごとに開催している広野町戦没者追

10月22日、早朝5時59分に福島県沖を震源とするマグニチュード7.4の地震が発生しました。Jアラートが作動し津波による避難を呼びかけました。町は災害対策本部を設置し、沿岸地域と東日本大震災で津波の浸水があったエリアに避難指示を発令し、防災行政